

会 議 名 称	墨田区基本計画等有識者懇談会
開 催 日 時	平成27年8月7日（金）午後6時30分から午後8時30分まで
開 催 場 所	区役所庁議室
出 席 者 数	10人 【外部有識者】 有田智一、大豆生田啓友、奥山雅之、羽生冬佳 藤林慶子、村上正浩 【区】 山本亨（区長）、高野祐次（副区長）、 関口芳正（企画経営室長）、岩瀬均（企画経営室参事）
傍 聴 者 数	5人
議 題	1 区長あいさつ 2 出席者の紹介 3 意見交換 (1) 墨田区基本計画等有識者懇談会について (2) 墨田区人口ビジョン策定に向けた現状分析結果等について (3) 墨田区基本計画に係るアンケート調査の結果について 4 その他、連絡事項等
配 付 資 料	1 出席者名簿 2 墨田区基本計画策定方針 3 墨田区基本計画等有識者懇談会について 4 墨田区人口ビジョン策定に向けた現状分析結果等 5 墨田区基本計画に係るアンケート調査【速報版】
会 議 概 要	1 開会 2 区長あいさつ 区長から、懇談会開催に当たってのあいさつを行った。 3 座長の紹介 企画経営室参事から座長の紹介を行った後、座長があいさつを行った。 4 出席者の紹介 出席者が自己紹介を行った。 5 墨田区基本計画等有識者懇談会について 企画経営室参事から、資料「墨田区基本計画策定方針」及び「墨田区基本計画等有識者懇談会について」を用いて、有識者懇談会の主旨等について説明を行った。 6 墨田区人口ビジョン策定に向けた現状分析結果等について

企画経営室参事から、資料「墨田区人口ビジョン策定に向けた現状分析結果等」を用いて説明を行った後、意見交換を行った。

【主な意見等】

- ・ 本区は、都市化とベッドタウン化が同時進行している。そういった社会における位置づけを踏まえ、人口問題を始めとする諸課題を検討すべき。
- ・ 単純に人口だけではなく、本区なりのキャラクターを維持することや優位点を活かしていくことで、選ばれ、また、住み続けられるまちとなることが重要である。
- ・ 人口が増えるということは、必ずしもプラスに働くものだけではない。むしろ、子育て環境などにおいては、悪くなる方向に働くものなのではないか。
- ・ 待機児童の解消は最大の課題であるが、どこの自治体も取り組んでいることから魅力として打ち出しにくい。また、横浜市は、やり方は別としてもインパクトがあり、やはり「見せ方」は大切である。「すみだと言えば子育て」と区外の人が思うような実態とイメージ戦略が必要である。
- ・ 0～2歳時の7割は在宅での子育てであるから、在宅子育て支援も課題となる。
- ・ 今は親子が公園に行かないので、「子育てひろば」のような施設の役目が重要となっている。相談機能等、既存のものを改良していくことがテーマとなる。この点、江東区は待機児童数が多いものの、子と保護者がつながるための拠点整備に力を入れている自治体として有名である。
- ・ 「このまちで産んでよかった」と思わせることができれば、それ以降の定住や次の出産につながるので、第一子を育てる際にどのような支援を行えるかが重要である。
- ・ 子育てするのが楽しいまちにするには、NPO等のネットワークの活用も考えられる。特に、本区がそういった市民活動団体が生まれ始めているので、活用してみたらどうか。
- ・ 本区は公園環境が悪いうえ、オープンスペースが少ない、歩車道が一体となった道路等があり、子育てをしやすい環境がなくなっている。中小企業が少なくなることで地域コミュニティも減退している。「職と住が近接だから良い」という単純な話ではなく、今の本区は、これまで職によって作り上げられてきたものがなくなっている。
- ・ 墨田区のまちの特性を考えると、事前の地震対策が必要なことはいまでもないが、地震後の復興対策についても真剣に考える必要がある。とくに復興における生活再建が困難となることが予想されることから、多くの転出者が本区に戻ってこなくなるおそれもある。そうなれば、示された推計値よりももっと人口が減少していくことは容易に想像がつく。
- ・ 住民は自区のことをよく知っていても、よっぽどの情報がない限り、他区のことを知らない。文句があっても他を知らないから残っているということも多い。しかし、もっと小さな圏域（商店街、地域包括ケアセンターなど）については情報が伝わりやすい。圏域から全体を見直すということも必要ではないか。

- ・ 観光の観点から言っても、特徴がなく、つまらない街になってきている。

7 墨田区基本計画に係るアンケート調査の結果について

企画経営室参事から、資料「墨田区基本計画に係るアンケート調査【速報版】」を用いて説明を行った後、意見交換を行った。

【主な意見等】

- ・ 目標値は主観で設定をするということもあり得るが、そうであった場合、目標値を達成していないからと言って、必ずしも問題があるとは言い切れない。
- ・ 目標値との差等ではなく、元々の数値が絶対値として低いものについて、区としてどのように考えていくか、トレンドや絶対値の高低について注目をして分析をしていくことも必要ではないか。